現代佛蘭西名家画集



正宗得三郎編

ボナール・マチス・ピカソ
ドラン・シニヤツク・ブラツク
ドュフヰ・スゴンザツク
ルオール・ユトリロ
ローランサン

★★
★

原色版十二葉・寫眞版十二葉

東京 アトリヱ社 出版

¥3.50

現　代
佛蘭西名家画集

正宗得三郎編



東　京

アトリヱ社

出　版



帽子を被れる女

ボナール

現　代

佛蘭西名家画集

正宗得三郎編

ボナール・マチス・ピカソ・ドラン・ブラツク・シニヤツク
ドュフヰ・スゴンザツク・ルオール・ユトリロ・ローランザン



東京　アトリヱ社　出版

現代佛蘭西名家畫集

正 宗 得 三 郎 編

現代の佛蘭西畫家

現代の畫家を粋抜する事は美術史家の尤も困難とする處である。

人の一生は判らないと同じく、その人の前途の藝術は分らない。現代作家中眞によき作家を見出す事は批評家にとりて、一つの創作である。多くの美術批評家なり又畫家が過去のクラシツクとなつた、定評ある作家なり、作品に對しては大凡評論を一にしてゐるが、現代の人に就てはまるで的がない。人によつて議論、まちまちである。

この現代佛蘭西名家畫集に選んだ作家は、余の現代佛蘭西に於ける、多くの畫家中より割合よき作家をひろつたのである。この以外にもまだ相當の人はゐる。

ロオランサンを加へたのは、唯一の閨秀作家たる爲めで、一つの見本である。

——正宗得三郎——

風　　景

ボナール


Bonnard

カルタ遊ぶ女

ボナール



男　の　顔

ドラン



裸　　體

ドラン



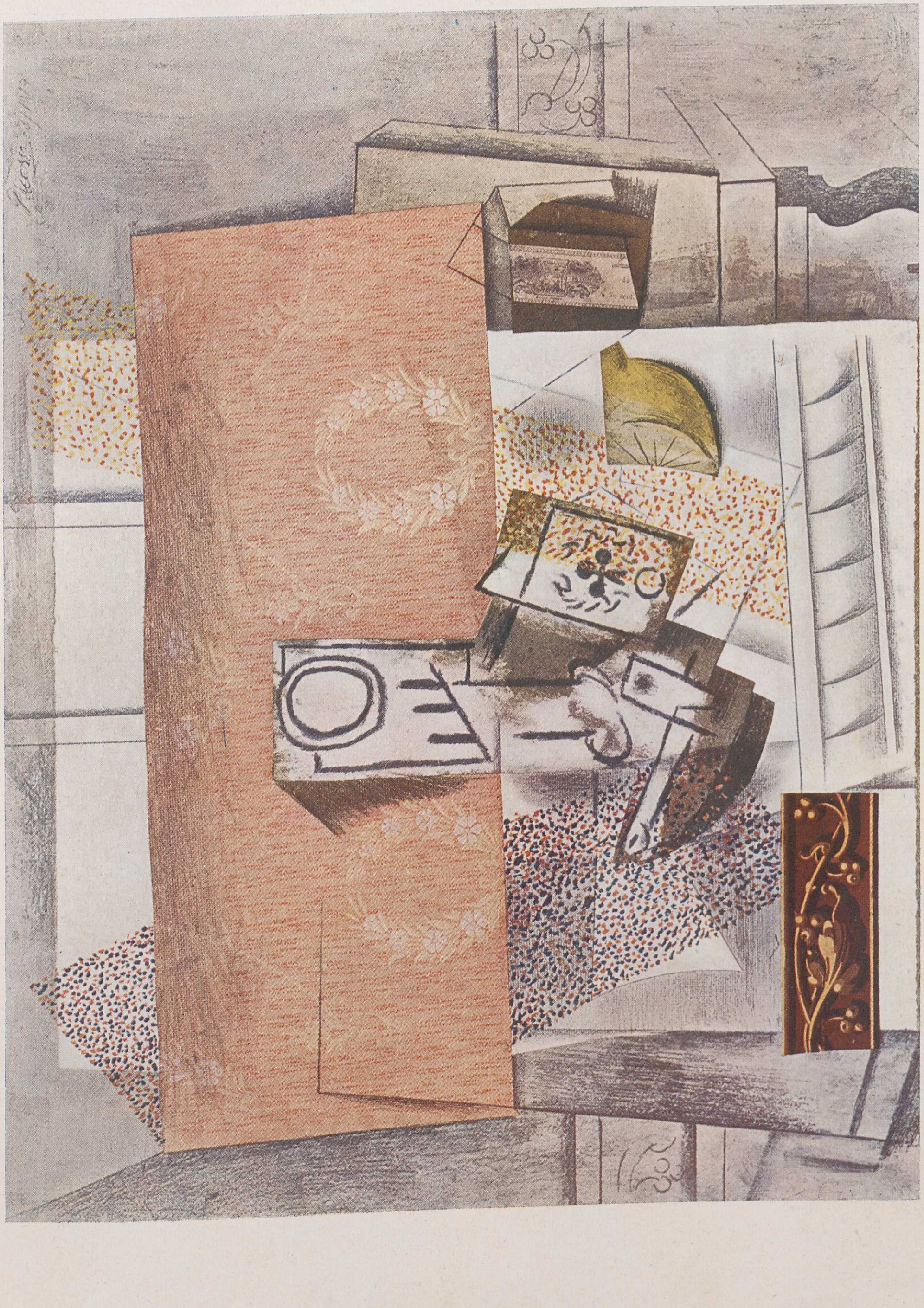
肖　　像

ピ　カ　ソ



赤い敷物のある靜物

ピ カ ソ



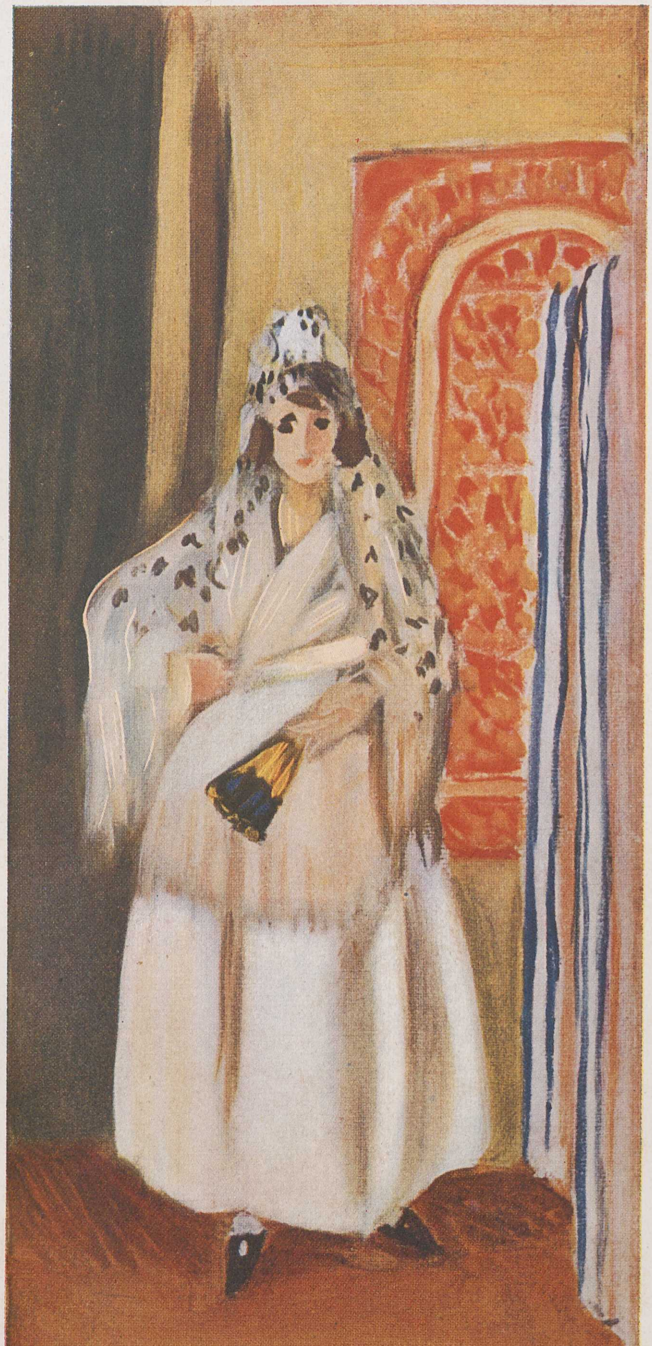
金　　　魚

マチス



西班牙風俗の女

マチス



アネモネ

ドユフヰ



静　　物

ブラック



マ ル セ エ ユ

シニヤツク

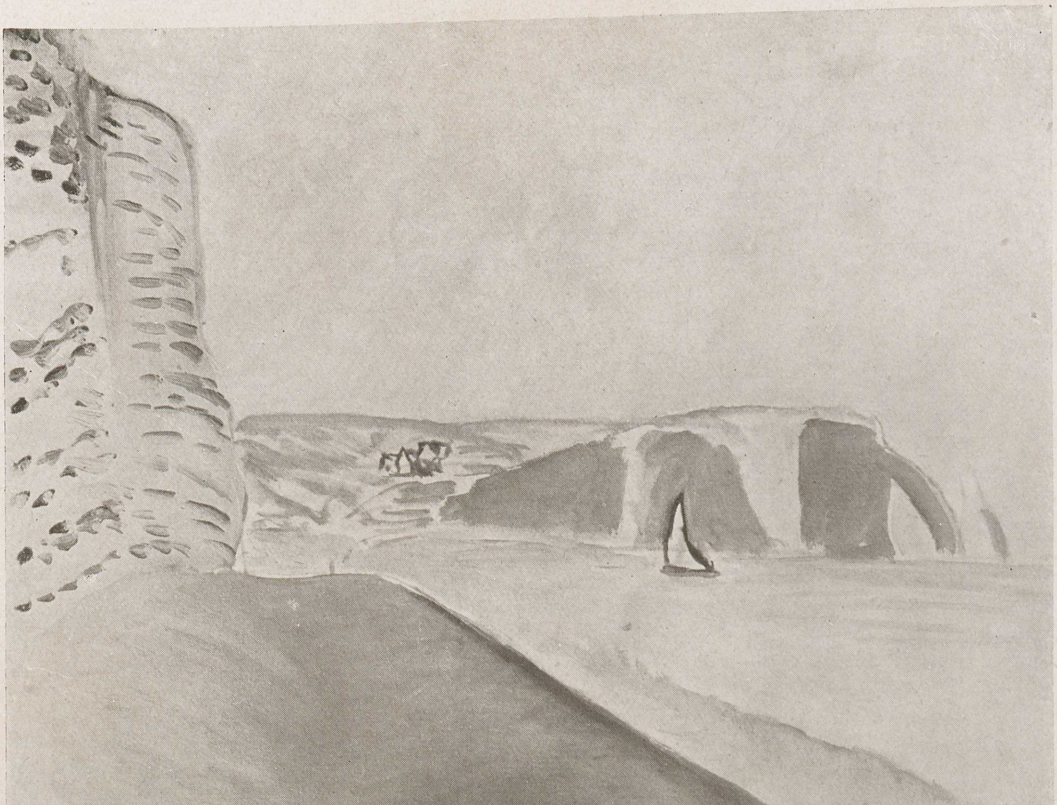




1

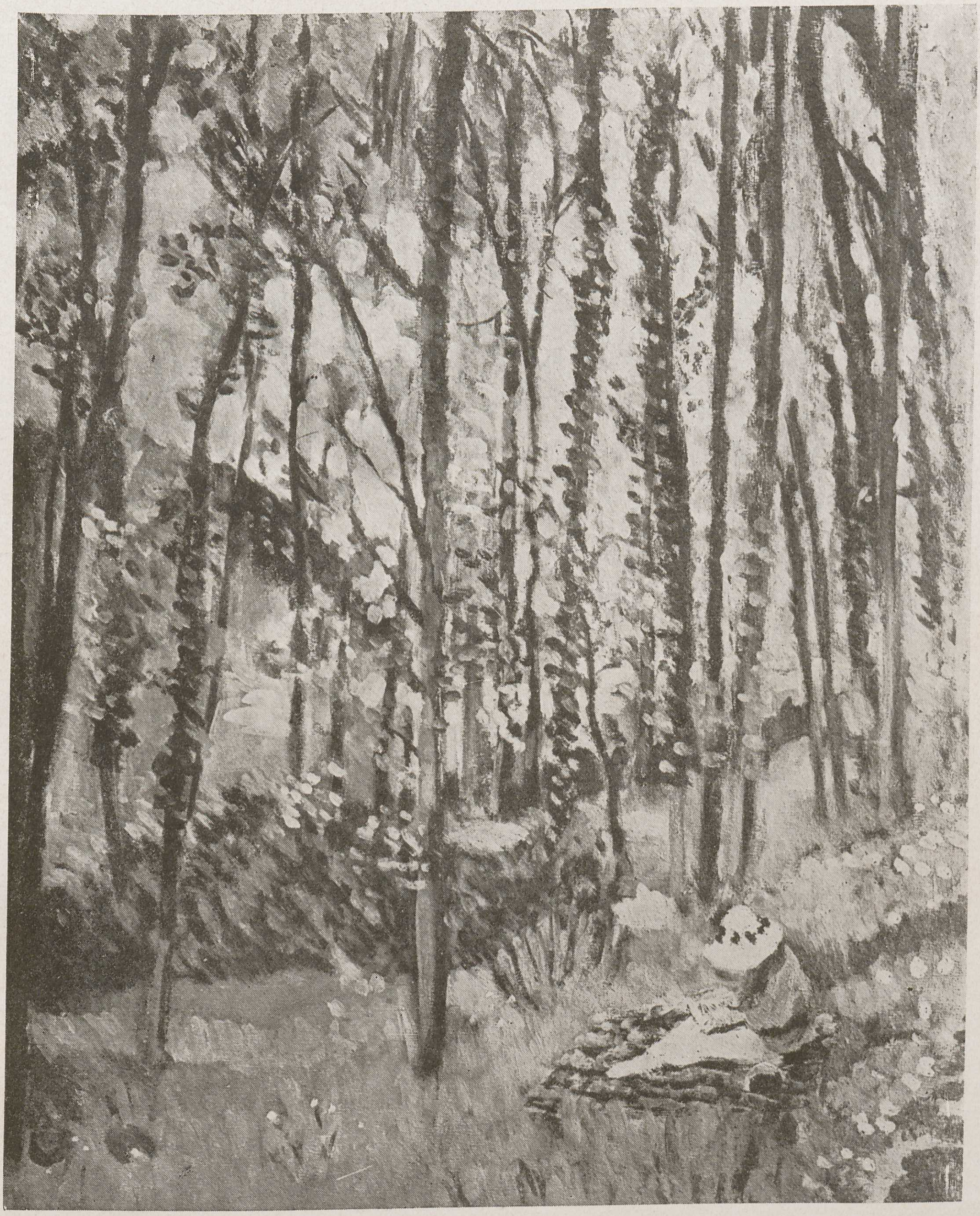
風　景

ボナール



魚

マチス



林間讀書
マチス



4

泉

ピカソ



ペンを持てる女

ピ カ ソ



裸体（デッサン）
ブラック



女　君
ローランサン



女の肖像
ドラン



9

假裝

ドラン



ルウト.ド.クレシー

スゴンザック



ムウラン.ド.ラ.ガレット
ユトリロ



曲馬の娘

ルオール

現代佛蘭西名家畫集　正宗得三郎編　目次

原色版

寫眞版

諸　家　年　表

BONNARD (Pierre)

Fontenay—aux—Roses　1867. 10. 3.

ボンナルは千八百六十七年十月三日フォンテネ・オロオズに生る。

DERAIN (André)

Chatoo (Seine—et—oise)　1880. 6. 17.

ドランは千八百八十年六月十七日シャトオ(セイヌ・エ・トワアズ)に生る。

PICASSO (Pablo Ruiz)

Malaga　1881. 10. 24.

ピカソは千八百八十一年十月二十四日西班牙マラガに生る。

MATISSE (Henri)

Le Cateau　1819. 12. 31.

マチスは千八百六十九年十二月三十一日ル・カトオに生る。

DUFY (Raoul)

Havre

ドュフヰはアオヴルに生る。

BRAQUE (Georges)

Argentevil

ブラツクはアルジヤントイユに生る。

SIGNAC (Paul)

Paris　1863. 11. 11.

シニヤツクは千八百六十三年十一月十一日巴里に生る。

ROUAULT (Georges)

Paris 1871. 5. 27.

ルオルは千八百七十一年五月二十七日巴里に生る。

UTRILLO (Maurice)

Corse Ajaccio 1883. 12. 25.

ユトリロはコルス・アヂアチヨに生る。(ユトリロは伊太利の人で、ユトリロでなくウトリロと呼ぶ人もある。コルスはコルシカの事であるコルスのアヂアチヨであると思ふがこれは確ではない。)

SEGONZAC (Dunoyer)

Boussy—Saint—Antoine 1884. 7. 6.

スゴンザツクは千八百八十四年七月六日ブシイ・センタン・トワンヌに生る。

LAURENÇIN (Marie)

Paris 1880.

ロオランサンは千八百八十年巴里に生る。

大正十五年六月二十八日印刷
大正十五年七月　一　日發行　現代佛蘭西名家畫集

編　　者　正宗得三郎
東京市外大森新井宿一三九四
發行者　北原義雄
東京市赤坂區田町一ノ十五
印刷所　日本美術寫眞印刷所
東京市牛込區西五軒町三十四
印刷所　日能製版印刷所
東京市神田區小川町一
印刷所　風間印刷所
東京市麹町區内山下町一ノ一
發行所　アトリヱ社
電話　銀座二四五六・振替東京六六〇〇二

定價金三圓五十錢

泰西名家の大列冊畫集

アトリヱ社編・定價各二圓五十錢 送料十八錢 代金引換に應ず

ルノアール畫集
かくも甘美豐麗にして芳香馥郁たる女體の消息を語り盡し、人を陶醉の境に誘ふた畫家は古今ルノアールを除いてはその比を見ない。

ゴオホ畫集
爛々たる太陽！狂へる如き向日葵の花！此の異常な天才畫家の悉く畫境躍如たる偉業に接する者、誰か感動驚異せずに居られやうか。

セザンヌ畫集
たゞこれ深き凝視に徹して、自然の眞相を看破し、觸れば切々血の滲むばかりなる生命感。嶄然たる時代を劃せる近代繪畫史上の父祖。

ドオミヱ畫集
微笑と皮肉を以て人生を諷刺した鬼才ドオミヱの名は美術史上に獨一無二。人生の縮圖を巧みに示して、然も藝術味濃厚、表現犀利極りなく、溂々として人に迫り來る。

ミレヱ畫集
崇高にして純朴、牧歌的情趣津々たる、田園畫家ミレヱの繪は、後代万人に親近の情を覺えしめ、殊にそのデッサンは我等に親しい。

ゴヤ畫集
繪畫を佛蘭西にのみ求める者にして、一度十八世紀西班牙に其眼を轉ぜんか、玆に燦然たる光彩を放てる藝術殿堂がある。

ダギンチ畫集
ダギンチの名は藝術史上の最高位に冠絶し、その雄渾壯大なるスケールは近代人の仰いで彌々喝拜すべく、範となすべきもの。

ポンペイ壁畫集
噴灰の死都、ポンペイより發掘されたる驚くべき數多の神品は、凛冽たる藝術の香氣を現代に甦生せしめて、畫道の精髓を示した。

マチス畫集
マチスの線は直截簡頸、在來の線を一蹴し、マチスの色彩は一抹にして淸冽、色彩史上に斯の如き感覺の機徴は未だ見ず。

ゴーガン畫集
セザンヌ、ゴオホと鼎立して後期印象派の巨璧。南海の孤島タヒチに詩境を得て、原始的生活と風物を描いた此の象徴的繪畫に魅せられよ。

各冊原色版四葉・寫眞版三十餘葉・小傳

東京市麴町區内山下町一の一
アトリヱ社
電話銀座二四五六
振替東京六六〇〇二

現代洋畫壇の名寶

梅原龍三郎畫集

梅原龍三郎著

往年、梅原氏の佛國に在るや、ルノアールの野に育ち、南歐に彩華を養ひ、以來驚くべき官能の蠱惑と、畫品の芳冽と、表現の不羈縱横とを以て鳴り、進境一作毎に現はれ、更に今日東洋的風格これに滲溢して圓熟の境彌々到る。氏こそ、現代日本洋畫壇の有する唯一無二の色彩畫家として、就中その得意の裸婦の圖は清香凛然、氏に匹儔するものなし。その眼醒ましき代書的傑作は滯歐作品より近作に至るまで氏の自撰によつて悉く本書に盛られ、魅力渤々たり。將に最高の畫格を占むる寶巻として、敢て一般同好の士に薦め、此の快適なる藝術境に誘はんとする所以なり。

内容

原色版十葉 自畫像、巴里の女、熱海、ナルシース、ベスビオとナポリ、青磁に梨リンゴ、秋山、臥裸婦、江ノ浦、壺の菊

寫眞版十六葉 女の顔、洗足裸婦、モレー、讀書婦、ナポリ、首飾り、椿、座裸婦、座裸婦、南歐風景、座裸婦、座裸婦、座裸婦、座裸婦、江ノ浦の家、江ノ浦の山

定價金三圓五十錢
送料十八錢
（代金引換に應ず）

中川一政畫集

中川一政著

中川一政氏は畫人にして詩人也。その作品のおのづから「人」より生れて、氣魂よく溢るゝもの、氏の如きは稀なり。至純直情なるその畫風は、宛ら小兒の天眞と聰慧より出でたるに似て機微直ちに人に入る。例へばその好んで取材せる透明なる玻璃器の味感、或は凡常なる一自然を捉へて興趣盡きざる風景畫の手法、凛乎として人を穿つべし。氏の畫道、爾來一作毎に傾向を蛻脱して、今日その一筆に全局の含蓄を深むるを見る。本書に収むる舊作新作總て氏自ら快心の作。加ふるに文筆亦豐かなる氏の一面は、本書に附する堂々數十頁の藝術觀、隨筆、詩藻となり、氏の繪畫を愛するものゝ割愛すべからざる珠玉たるべし。

内容

原色版九葉 春光、芋畑、監獄之横、初冬、初夏水邊、靜物小品、厨房靜物、晩春新緑、野川

寫眞版十二葉 酒倉、霜どけの道、少女杉と茶畑、監獄之横、村娘、村娘、村娘、中禪寺湖、靜物小品、初夏水流、靜物

附錄 「虚實論」、「美術の眺め」、「隨筆」

定價金四圓二十錢
送料十八錢
（代金引換に應ず）

東京市麹町區
内山下町一ノ一

アトリヱ社

電話銀座二四五六
振替東京六六〇〇二